

# 中国の現状つぶさに

## 中日サロン 中嶋嶺雄氏が講演

北陸中日新聞、中日文化センター共催「中日サロン」十一月例会は、十九日午前十一時から金沢市武蔵町、金沢スカイホテル八階「トップ・オブ・カナヅワ」で、中国問題の第一人者として知られる中嶋嶺雄東京外国語大助教授を迎えて開かれた。中嶋氏は「毛沢東死後の中国」と題し、外に中ソ対立、内には路線闘争と多難な問題に直面している中国の現状と今後



中嶋嶺雄東京外国語大助教授を招いて開かれた中日サロン11月例会  
—金沢市・スカイホテルで

の見通しを二時間三十分にならして講演した。

石川県下ではことし一月、日中友好同盟青年代表団が初訪中したのをはじめ、四月には輪島市から政治、経済界代表が訪中、さらに金沢市でも来春、親善使節団の派遣を準備し始めており、日中友好ムードは高まる一方。それだけに中国の華国鋒新体制と、これにからむ江青女史と反党四人組の糾弾闘争の動向を中心に、最近の中国情勢に寄せる県民の関心は深い。参会者は中嶋氏の含意の

ある話に熱心に聴き入っていた。中嶋氏は同日朝、羽田空港をたぎ午前九時三十五分小松空港に着いた。同十時二十分過ぎ金沢市香林坊二丁目、中ビビルに森勇夫中日新聞北陸本社代表を訪ね歓談したあと例会に臨んだ。同講演後は市広坂二丁目、県郷土資料館と中山科町、九谷焼窯元葛崎光孝さん方(中日文化センター)陶芸講師)をそれぞれ見学、空路帰京する。

司法研修所に  
初の女性教官

東京地裁の寺沢さん  
最高裁は東京地裁民事三三三課

明快に  
あなたの  
表現  
します